

## 付属資料

### (1) 北海道後志地域公共交通活性化協議会 規約

#### 北海道後志地域公共交通活性化協議会規約

(名称)

第1条 本会は、北海道後志地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画の作成及び実施に関する協議を行うために設置する。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域公共交通計画の作成及び変更に関する協議
- (2) 地域公共交通計画の実施に関する協議
- (3) 地域公共交通計画に位置付けられた事業の実施
- (4) 前3号に掲げるもののほか、前条に規定する目的を達成するために必要な業務

(協議会の委員)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員の報酬及び費用弁償に関する事項は、会長が別に定める。

(協議会の役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1名
  - (3) 監事 2名
- 2 会長は、北海道後志総合振興局副局長をもって充てる。
- 3 副会長及び監事は、会長が指名する委員をもって充てる。
- 4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、会長の職務を代理する。
- 6 監事は、協議会の出納を監査し、その結果を会長に報告しなければならない。
- 7 会長、副会長及び監事は、相互に兼ねることができない。

(総会)

第6条 総会は、委員をもって構成する。

- 2 総会は、会長が招集する。
- 3 総会は、次に掲げる事項を協議し、議決する。
- (1) 協議会の規約の制定及び改廃に関する事項
  - (2) 地域公共交通計画の作成及び実施に関する事項
  - (3) 事業計画の決定及び事業報告の承認に関する事項
  - (4) 予算の決定及び決算の承認に関する事項
  - (5) 協議会の解散に関する事項
  - (6) その他協議会の運営上必要と会長が認めた事項
- 4 総会の議長は、会長がこれに当たり、会長が欠席した場合にあっては、副会長がこれに当たる。
- 5 会長は、総会の開催の日時、場所及び総会に付議すべき案件をあらかじめ委員に通知しなければならない。
- 6 総会は、委員の過半数の出席がなければ、開くことができない。
- 7 総会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第3項第5号に掲げる事項にあっては、委員の総数の4分の3以上で決するものとする。
- 8 委員は、やむを得ない理由により総会に出席することができないときは、あらかじめ通知された事項について、書面により議決権を行使し、又は当該委員の所属する団体の職員を代理人として議

- 
- 決権を委任することができる。この場合において、当該委員は、総会に出席したものとみなす。
- 9 総会は、原則として公開とする。ただし、総会において個人情報を取り扱う場合その他会議を公開することにより総会の運営に支障が生ずると会長が認めるときは、全部又は一部を公開しないこととすることができる。
- 10 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を総会に出席させ、意見を聴取することができる。
- 11 第4項から前項までの規定にかかわらず、感染症のまん延を防止するため必要があるときその他やむを得ない事情により総会を招集することができないと会長が認めるときは、第3項各号に掲げる事項について書面により委員の意見を徴する方法により総会を行うことができる。この場合において、会長が指定する期日までに書面を提出した委員の2分の1（同項第5号に掲げる事項にあっては、委員の総数の4分の3）以上が当該事項について同意したときは、当該同意をもって総会の議決があったものとみなす。
- 12 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。
- （幹事会）
- 第7条 協議会の円滑な運営を図るため、協議会に幹事会を置く。
- 2 幹事会は、別表に掲げる幹事をもって組織する。
- 3 協議会の会務を整理するため、幹事会に幹事長を置き、北海道後志総合振興局地域創生部長をもって充てる。
- 4 幹事会は、総会に提案する事項その他幹事長が必要と認めた事項を協議するものとする。
- 5 幹事長は、幹事会を招集する。
- 6 幹事長は、幹事会の開催の日時、場所及び幹事会で協議する事項をあらかじめ幹事に通知しなければならない。
- 7 幹事会の議事は、出席した幹事の過半数で決し、可否同数の場合は、幹事長の決するところによる。
- 8 幹事は、やむを得ない理由により幹事会に出席することができないときは、あらかじめ通知された事項について、書面により議決権を行使し、又は当該幹事の所属する団体の職員を代理人として議決権を委任することができる。この場合において、当該幹事は、幹事会に出席したものとみなす。
- 9 幹事長は、必要があると認めるときは、幹事以外の者を幹事会に出席させ、意見を聴取することができる。
- 10 第5項から前項までの規定にかかわらず、感染症のまん延を防止するため必要があるときその他やむを得ない事情により幹事会を招集することができないと幹事長が認めるときは、第4項に規定する事項について書面により幹事の意見を徴する方法により幹事会を行うことができる。この場合において、幹事長が指定する期日までに書面を提出した幹事の2分の1以上が当該事項について同意したときは、当該同意をもって幹事会の議決があったものとみなす。
- 11 幹事長は、幹事会の議決があった事項を速やかに協議会に報告しなければならない。
- 12 前各項に定めるもののほか、幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。
- （分科会）
- 第8条 第3条各号に掲げる事業について専門的な調査又は検討を行うため、必要に応じて協議会に分科会を置くことができる。
- 2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、前2条の規定に準じて会長が別に定める。
- （協議結果の尊重義務）
- 第9条 委員は、協議会において協議が調った事項については、その結果を尊重しなければならない。
- （守秘義務）
- 第10条 委員並びに第6条第10項及び第7条第9項の規定により総会又は幹事会に出席した者は、個人情報その他協議会の運営上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。
-

(事務局)

第11条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局は、北海道後志総合振興局地域創生部地域政策課に置く。
- 3 事務局には、事務局長、事務局次長その他必要な職員を置く。
- 4 事務局長は、北海道後志総合振興局地域創生部長をもって充てる。
- 5 事務局は、次に掲げる業務を行う。
  - (1) 総会の運営に関すること。
  - (2) 協議会の経費の執行及び管理に関すること。
  - (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項に関すること。
- 6 前各項に定めるもののほか、事務局の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(財務)

第12条 協議会の経費は、補助金、負担金、繰越金その他の収入をもって充てる。

- 2 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
- 3 幹事は、協議会の会計の監査を行ったときは、その結果を会長に報告しなければならない。
- 4 前3項に定めるもののほか、財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第13条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを清算し、清算後は、その結果を委員であった者に対し通知するものとする。

- 2 協議会が解散する際に有する残余財産の処分は、解散を議決した総会の時に議決を経て、その取扱いについて決定する。

(剰余金等の処理)

第14条 協議会は、決算において、剰余金が生じた場合には、総会の議決を経て、これを処理しなければならない。

- 2 協議会は、決算において、欠損金が生ずる見込みとなった場合には、総会の議決を経て、これを処理しなければならない。

(事故の処理)

第15条 協議会は、第3条各号に掲げる事業に起因する事故が生じたときは、総会の議決を経て、これを処理しなければならない。

(委任)

第16条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、令和3年4月1日から施行する。

別表（第4条、第7条関係）

構成員の区分 (法第6条第2項)	団体名・所属等	職名等	
		総会	幹事会
地方公共団体	北海道後志総合振興局	【会長】 副局長	
		地域創生部長	【幹事長】 地域創生部長
	小樽市	建設部新幹線・まちづくり推進室主幹	建設部新幹線・まちづくり推進室主幹
	島牧村	企画課長	企画課長
	寿都町	企画課長	企画課長
	黒松内町	企画環境課長	企画環境課長
	蘭越町	総務課企画防災対策室長	総務課企画防災対策室長
	ニセコ町	企画環境課長	企画環境課長
	真狩村	総務課長	総務課長
	留寿都村	企画観光課長	企画観光課長
	喜茂別町	総務課長補佐	総務課長補佐
	京極町	企画振興課長	企画振興課長
	倶知安町	総合政策課長	総合政策課長
	共和町	企画振興課長	企画振興課長
	岩内町	企画財政課主幹	企画財政課主幹
	泊村	総務課長	総務課長
	神恵内村	総務課長	総務課長
	積丹町	企画課長	企画課長
	古平町	総務課長	総務課長
	仁木町	企画課長	企画課長
	余市町	総務部企画政策課長	総務部企画政策課長
	赤井川村	総務課長	総務課長
	長万部町	まちづくり推進課長	まちづくり推進課長
公共交通事業者	北海道中央バス（株）	バス事業部副部長	バス事業部副部長
	ニセコバス（株）	取締役総務部長	取締役総務部長
	道南バス（株）	営業事業部長	営業事業部長
	小樽ハイヤー協会	指導委員長	
	後志地区ハイヤー協会	副会長	
	北海道旅客鉄道（株）	小樽地区駅長	
道路管理者	北海道開発局小樽開発建設部	道路計画課長	
	北海道後志総合振興局小樽建設管理部	事業室地域調整課長 交通部交通規制課 調査官（都市交通対策）	
公安委員会・警察	北海道警察本部		
地域公共交通利用者	後志地区身体障害者福祉協会	会長	
	北海道高等学校PTA連合会後志支部	支部長	
	後志観光連盟	事務局長	
学識経験者	小樽商科大学	准教授	
北海道運輸局	札幌運輸支局	首席運輸企画専門官	首席運輸企画専門官
その他	北海道地方交通運輸産業労働組合協議会	副議長	副議長

## (2) 北海道後志地域公共交通活性化協議会の開催経緯

回数	開催方式	開催日時	議題
第1回協議会	書面開催	2021（令和3）年 4月1日（木）	協議会設置、事業計画及び収支予算の決定等
第2回協議会	書面開催	2021（令和3）年 7月15日（木）	委託業者の報告、調査・検討の進め方の協議等
第3回協議会	書面開催	2021（令和3）年 11月15日（月）	アクセス実態調査結果・住民アンケート調査計画・幹線・広域ネットワークの維持・確保方針に関する検討状況の報告
第4回協議会	対面・WEB 会議併用	2022（令和4）年 3月29日（火） 10:30～11:45	北海道後志地域公共交通計画（案）の協議

(3) 後志地域の高速バス・路線バスの運行・利用状況

■北海道中央バス運行路線の運行・利用状況（高速バス・主に広域交通を担う路線バス）

No	分類	路線名	運行区間(系統別)			所要時間(分)	運行便数(便/日)						1便あたり利用者数(人/便)						日利用者数(1便あたり利用者数×便数:人/日)						補助対象 (令和3年度)
							平日			休日			平日			休日			平日			休日			
			起点	主な経由地	終点		往路	復路	往復計	往路	復路	往復計	コロナ前		コロナ後		コロナ前		コロナ後		コロナ前		コロナ後		
													通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期			
1	高速バス	高速いわない号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市・仁木・共和	岩内ターミナル	147	15	15	30	10	15	25	27	29	24	21	16	14	810	870	720	630	400	350	
2		高速ニセコ号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市・仁木・倶知安	いこいの湯宿いろは	180	3	3	6	3	3	6	23	24	18	16	12	11	138	144	108	96	72	66	
3		高速しゃこたん号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市	神威岬	193	1	1	2	1	1	2	26	28	30	14	18	11	104	112	120	56	72	44	
4		高速よいち号	札幌駅前ターミナル	小樽・余市	美国	142	1	1	2	1	1	2	59	67	59	50	20	21	177	201	177	150	40	42	
5		余市線	小樽駅前ターミナル	塩谷	余市梅川車庫前	52	23	23	46	19	21	40	32	33	26	27	15	15	1,472	1,518	1,196	1,242	600	600	
6	主に 広域交通 を担う 路線バス	積丹線	小樽駅前	余市駅前十字街	美国	80	9	8	17	8	5	13	28	30	20	22	13	13	672	720	480	528	247	247	地域間幹線系統
			小樽駅前	余市駅前十字街	神威岬	141	2	2	4	2	2	4													
			小樽駅前	余市駅前十字街	積丹余別	136	2	1	3	1	1	2													
7	赤井川線	余市駅前	赤井川	道の駅あいがわ	31	2	2	4	全便運休			4	3	2	3	0	0	32	24	16	24	0	0	市町村生活バス路線	
		余市駅前	赤井川	常盤	53	2	2	4																	
8	神恵内線	岩内ターミナル	釜温泉	大森	58	4	3	7	2	3	5	10	12	9	9	5	5	140	168	126	126	50	50	広域生活交通路線	
		岩内ターミナル	釜温泉	川白	74	1	2	3	1	0	1														
		岩内ターミナル	釜温泉	神威岬(冬期:川白)	91	2	2	4	2	2	4														

※1 便あたり利用者数・日利用者数は、コロナ前通常期：2019.4-10 平均、コロナ前冬期：2019.12、コロナ後通常期：2020.4-10 平均、  
 コロナ後冬期：2020.12-2021.2 平均、コロナ前休日はデータ無し

資料：北海道中央バス提供資料を基に集計・整理



■ニセコバス運行路線の運行・利用状況

No	分類	路線名	運行区間(系統別)			所要時間(分)	運行便数(便/日)						1便あたり利用者数(人/便)				日利用者数(1便あたり利用者数×便数:人/日)				補助対象(令和3年度)	
							平日			休日			平日				平日					
			起点	主な経由地	終点		往路	復路	往復計	往路	復路	往復計	コロナ前		コロナ後		コロナ前		コロナ後			
													通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期		
1	主に 広域交通 を担う 路線バス	小沢線	倶知安駅前	小沢	岩内ターミナル	44	9	9	18	6	6	12	11	10	10	8	198	180	180	144	地域間幹線系統	
2		島牧線	寿都ターミナル	島牧役場	栄浜	54	1	2	3	1	1	2	5	5	6	6	15	15	18	18	市町村生活バス路線	
3		小樽線	ニセコ駅前	倶知安駅前	小樽駅前	44	2	1	3	2	1	3	5	7	7	7	15	21	21	21	市町村生活バス路線	
4		雷電線	寿都ターミナル	港町	岩内ターミナル	70	6	6	12	6	6	12	12	12	9	8	6	144	108	96	72	地域間幹線系統
5		黒松内線	寿都ターミナル	追分	黒松内温泉	35	2	2	4	2	2	4	1	1	1	1	4	4	4	4	4	市町村生活バス路線
6		長万部線	寿都ターミナル	黒松内	長万部駅前	60	1	1	2	1	1	2	4	4	4	2	8	8	8	8	4	市町村生活バス路線
7		福井線	ニセコ駅前	昆布駅前	蘭越出張所	30	2	2	4	2	2	4	1	1	1	1	4	4	4	4	4	市町村生活バス路線
8	主に 生活圏交 通を担う 路線バス	倶知安線	倶知安駅前	ひらふ	ヒルトンニセコビレッジ	43	4	4	8	4	3	7	4	26	4	5	32	208	32	40	市町村単独	
9		ニセコ線	ニセコ駅前	いこいの宿いろは	昆布温泉	80	2	2	4	2	2	4	4	-	2	-	16	-	8	-	市町村単独	
10		倶知安・ニセコ線	ニセコ駅前	倶知安駅前	厚生病院前	31	1	1	2	-	-	-	1	0.3	2	0.2	2	1	4	0		

※1 便あたり利用者数・日利用者数は、コロナ前通常期：2019.4-10 平均、コロナ前冬期：2019.12-2020.2 平均、コロナ後通常期：2020.4-10 平均、コロナ後冬期：2020.12-2021.2 平均、休日はデータ無し

資料：ニセコバス提供資料を基に集計・整理

■道南バス運行路線の運行・利用状況

No	分類	路線名	運行区間(系統別)			所要時間(分)	運行便数(便/日)					
			起点	主な経由地	終点		平日			休日		
							往路	復路	往復計	往路	復路	往復計
1	主に 広域交通 を担う 路線バス	札幌洞爺湖線	豊浦しおさい前	喜茂別	札幌	200	1	1	2	1	1	2
			洞爺湖温泉	喜茂別	札幌	180	1	0	1	1	0	1
			東町	喜茂別	札幌	170	2	3	5	2	3	5
2	主に 広域交通 を担う 路線バス	胆振線	倶知安	京極バスターミナル	伊達	145	3	3	6	3	3	6
3		京極線	倶知安	京極バスターミナル	喜茂別	45	7	9	16	7	8	15
4		留寿都・倶知安線	ルスツリゾートホテル前	ニセコ町	倶知安	55	7	7	14	6	6	12
5		羊蹄線	洞爺湖温泉	留寿都	ルスツリゾートホテル前	41	1	1	2	1	1	2
6		栄線	喜茂別		留寿都	14	1	0	1	1	0	1
7		主に 生活圏交 通を担う 路線バス	東山線	倶知安駅前	ひらふウェルカムセンター	樺山小学校	25	2	3	5	2	3
8	大和線		倶知安駅前	大和	倶知安駅前	67	2	0	2	3	0	3

No	分類	路線名	1便あたり利用者数(人/便)								日利用者数(1便あたり利用者数×便数:人/日)								補助対象 (令和3年度)	
			平日				休日				平日				休日					
			コロナ前		コロナ後		コロナ前		コロナ後		コロナ前		コロナ後		コロナ前		コロナ後			
			通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期	通常期	冬期		
1	主に 広域交通 を担う 路線バス	札幌洞爺湖線	9	13	4	5	10	14	4	5	18	26	8	10	20	28	8	10		
			14	13	2	6	12	14	2	5	14	13	2	6	12	14	2	5		
			9	13	4	5	10	14	4	5	45	65	20	25	50	70	20	25		
2	主に 広域交通 を担う 路線バス	胆振線	18	17	14	14	12	21	8	9	108	102	84	84	72	126	48	54	地域間幹線系統	
3		京極線	8	8	6	6	5	5	3	3	128	128	96	96	75	75	45	45	地域間幹線系統	
4		留寿都・倶知安線	11	11	10	11	7	7	5	6	154	154	140	154	84	84	60	72	地域間幹線系統	
5		羊蹄線	2	3	1	1	1	2	1	0.4	3.7	6.7	2.4	1.3	2.4	3.0	1.3	0.7	市町村単独	
6		栄線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	市町村単独
7		主に 生活圏交 通を担う 路線バス	東山線	0	9	2	2	1	3	1	2	0	45	10	10	5	15	5	10	市町村単独
8	大和線		0.2	0.2	0.1	0.1	0.4	0.1	0.0	0.1	0	0	0	0	1	0	0	0	市町村単独	

※1 便あたり利用者数・日利用者数は、コロナ前通常期：2019.5-7 平均、コロナ前冬期：2018.12-2019.2 平均、コロナ後通常期：2020.5-7 平均、  
コロナ後冬期：2020.12-2021.2 平均

資料：道南バス提供資料を基に集計・整理